

# 平成 21 年度授業評価等実施状況調査結果

## 1. 授業評価

### (1) 実施状況

別紙「平成 21 年度授業評価実施状況一覧」のとおり。

### (2) 実施組織

#### 教養教育科目

部局名	大学側	学生側
大学教育・学生支援機構	大学教育・学生支援機構大学 教育センター教育方法企画部会	なし

#### 専門教育科目

部局名	大学側	学生側
教育学部	教育学部	なし
社会情報学部	FD 推進専門委員会	なし
医学部医学科	医学部教務部会	学友会授業向上委員会
医学部保健学科	保健学科教育課程専門委員会	保健学科学友会
工学部	評価委員会委員	学生評価委員

#### 大学院科目

部局名	大学側	学生側
教育学研究科	教育学部	なし
工学研究科	評価委員会委員	学生評価委員

### (3) 実施方法

#### 教養教育科目

部局名	実施方法
大学教育・学生支援機構	<p>1. 分野別科目</p> <p>(1) 年度当初に実施科目を大学教育センター運営委員会で選定（21年度は分野別科目）</p> <p>(2) 開講授業科目担当教員を通じて質問票を学生に配付、回収。回収した質問票は、外部委託によりデータ集計。</p> <p>2. 教養教育全体</p> <p>(1) 「教養教育全体アンケート」として教養教育科目履修学生全員にアンケート用紙配付</p> <p>(2) 配付方法：必修科目の授業時に配付・アンケート記入後に回収</p> <p>(3) 回収枚数：805 枚</p> <p>(4) 回収した質問票は、外部委託によりデータ集計。</p>

専門教育科目

部局名	実施方法
教育学部	授業時に各教員がアンケート用紙を配布し、学生が回収し教務係に提出した。
社会情報学部	<p>1. 各学期に開講されているすべての科目のアンケート用紙と回収用封筒を教員別に袋詰めしたものを総務係に用意し、各教員がそれを引き取る。</p> <p>2. 教員は、最終授業の終了10分前にアンケート用紙を配布し、学生の中から回収責任者2名を指名して退室する（回収責任者には、封筒に貼付されているマニュアル通りに回収作業を行うよう指示する）。</p> <p>3. 回収責任者は、アンケート用紙を回収した後、封筒に入れ、事務室に提出する。</p>
医学部医学科	医学科の学生自治組織である学友会には授業向上委員会を設置している。本委員会が主体となり、該当（各学年）学生に配布・回収し、集計されたものを教務部会（学務課）に報告することとなっている。
医学部保健学科	別紙アンケート用紙により前・後期とも学外で行われる臨床実習等を除いて、全科目を対象として実施した。アンケート用紙の配布・回収は、学生の主体性の尊重、及びアンケートの記入内容の公正性確保の観点から学生が実施している。
工学部	<p>学部・大学院とも全教員が通年で少なくとも1科目は授業評価を受けることとして実施した。</p> <p>ただし、大学院については本年度担当科目がない教員は除く。</p> <p>学生側には各学科・専攻ごとに授業評価アンケートの実施、用紙の配布等をおこなうワーキンググループを組織してもらい、これが主体となってアンケートをおこなった。</p> <p>これと並行して、期間（2週間）を設けて公開授業をおこない、教員相互の授業評価も実施した。</p> <p>なお、授業評価アンケート集計作業は特別教育研究経費により学内学生アルバイトを雇用して実施した。</p>

大学院科目

部局名	実施方法
教育学研究科	授業時に各教員がアンケート用紙を配布し、学生が回収し教務係に提出した。
工学研究科	<p>学部・大学院とも全教員が通年で少なくとも1科目は授業評価を受けることとして実施した。</p> <p>ただし、大学院については本年度担当科目がない教員は除く。</p> <p>学生側には各学科・専攻ごとに授業評価アンケートの実施、用紙の配布等をおこなうワーキンググループを組織してもらい、これが主体となってアンケートをおこなった。</p> <p>これと並行して、期間（2週間）を設けて公開授業をおこない、教員相互の授業評価も実施した。</p> <p>なお、授業評価アンケート集計作業は特別教育研究経費により学内学生アルバイトを雇用して実施した。</p>

(4) 評価結果から判断できる教育の成果や効果（学生の授業に対する参加度，理解度，学習意欲及び満足度など）

教養教育科目

部局名	評価結果から判断できる教育の成果や効果（学生の授業に対する参加度，理解度，学習意欲及び満足度など）
大学教育・学生支援機構	<p>&lt;分野別科目&gt; 成績評価基準の説明，教員の教え方，シラバスの記述について，約7～8割の学生が，高い満足度を示している。 また，授業内容に対する満足度については，社会分野及び自然分野で約8割の学生が肯定的な意見を示している。</p> <p>&lt;教養教育全体&gt; 教養教育のカリキュラム，教員の教え方について，約6割の学生が，肯定的な意見を示しているほか，シラバスは約6割，履修手引・授業案内は約8割の学生が活用したと答えている。 また，授業科目においては，学修原論，総合科目，健康科学で約7割，分野別科目及び学部別科目で約5割の学生が，授業内容に肯定的な意見を示している。</p>

専門教育科目

部局名	評価結果から判断できる教育の成果や効果（学生の授業に対する参加度，理解度，学習意欲及び満足度など）
教育学部	上記の各点はいずれも良好であることが判断できる。
社会情報学部	<p>授業評価の結果に関しては，評価結果を各教員に返却し，各教員が授業の成果や効果を分析し，次年度の授業に反映させている。</p> <p>また，「学部長と学生との懇談会」及び「研究科長と院生との懇談会」においては，履修方法についてやパソコン等の使用に関して，質問が寄せられ，各質問に対し，学部長，学科長，教務委員等が丁寧に応答し，学部生及び院生の理解を得ることができた。</p>
医学部医学科	<p>本集計結果については，前述のとおり教務部会に報告され，例年実施しているFD（医学教育教授法ワークショップ）に於いて公表し，今後の授業内容等の向上の参考に供している。</p> <p>参加率、理解度等を数値で明示できるようなアンケート形式ではないが、点数化し学生の自由な意見を拾い上げる形になっており、学生の本音がアンケートに反映されている。これらをもとに医学科においては年2回の学友会（学生）と教員（学部長、教務委員会、運動部会委員等）との懇談会において活発な意見交換を実施できている。なお、それらの意見交換の場では従来と比して授業に対する満足度は高くなっているとの発言が見受けられる。</p>
医学部保健学科	平成21年度の授業評価結果は、前年度と同様、総合評価において5段階評価の又はが70%以上で又はと評価したものは5%以下であった。学生の授業に対する満足度は、継続して高い水準を維持できていることが分かった。その反面、学生の授業の出席率や積極性は高いが（7～8割）予習・復習時間が前年度同様1時間未満がその大半を占めていることが判明した。

工学部	ここ数年来の、授業評価アンケートの実施とその結果の各教員へのフィードバックにより、各教員の授業方法は格段に改善され、その結果、学生の授業に対する理解度や満足度は格段に向上していると言える。
-----	--

#### 大学院科目

部局名	評価結果から判断できる教育の成果や効果（学生の授業に対する参加度、理解度、学習意欲及び満足度など）
教育学研究科	上記の各点はいずれも良好であることが判断できる。
工学研究科	ここ数年来の、授業評価アンケートの実施とその結果の各教員へのフィードバックにより、各教員の授業方法は格段に改善され、その結果、学生の授業に対する理解度や満足度は格段に向上していると言える。

## 2. 学生との懇談会

### (1) 実施状況

#### 教養教育科目

部局名	名称	実施月日	大学側参加者数	学生側参加者数	内容
大学教育・学生支援機構	学長と学生との懇談会	21.4.30	6	40	学生の意向・要望を聴取することを目的とする。

#### 専門教育科目

部局名	名称	実施月日	大学側参加者数	学生側参加者数	内容
教育学部	学部長との懇談会	22.1.6	6	60	学生生活、学習環境など
社会情報学部	学部長と学生との懇談会	21.10.28	15	8	学生から意見・要望を聴取し、これに対する説明・確認を行う。
	研究科長と院生との懇談会	H21.12.7	9	12	大学院生から意見・要望を聴取し、これに対する説明・確認を行う。
医学部医学科	学友会との懇談会	H21.7.6	17	33	教育課程、施設等の要望事項聴取・意見交換
	学友会との懇談会	H22.1.25	15	42	〃
医学部保健学科	学生との懇談会	H21.6.30	18	15	授業、施設・設備・備品、生協、環境整備について
	学生との懇談会	H22.1.27	18	15	授業、使用教室、備品・設備、生協、事務対応について
工学部	学生との懇談会	H21.5.27	1	2	アンケート対象科目の決定

	学生との懇談会	H21.8.6	1	6	前期授業評価アンケート結果等についての懇談
	学生との懇談会	H21.10.5	1	6	
	学生との懇談会	H22.1.6	1	5	後期授業評価アンケート結果等についての懇談
	学生との懇談会	H22.1.14	1	5	

#### 大学院科目

部局名	名称	実施月日	大学側参加者数	学生側参加者数	内容
工学研究科	学生との懇談会	H21.5.27	1	2	アンケート対象科目の決定
	学生との懇談会	H21.8.6	1	6	前期授業評価アンケート結果等についての懇談
	学生との懇談会	H21.10.5	1	6	
	学生との懇談会	H22.1.6	1	5	後期授業評価アンケート結果等についての懇談
	学生との懇談会	H22.1.14	1	5	

#### (2) 懇談会での意見を教育の質の向上、改善に結び付けた取組及び具体的な改善事例

##### 教養教育科目

部局名	懇談会での意見を教育の質の向上、改善に結び付けた取組及び具体的な改善事例
大学教育・学生支援機構	学長と学生との懇談会において出された意見・要望についてすぐに改善できるもの(例:女子更衣室のカーテン設置、叙勲者のHPへの掲載)は、実施した。その他生協へも通知し、可能な範囲での対応を行う旨の回答を得た。

##### 専門教育科目

部局名	懇談会での意見を教育の質の向上、改善に結び付けた取組及び具体的な改善事例
教育学部	成績評価基準の明確化を求める学生の声に応えて、以下の取り組みをした。 1. 成績評価基準をシラバスに明記することについて、教員の間での周知徹底を図った。 2. 学生が成績評価に疑問がある場合、教務係を通じて担当教員に再確認を願い出る制度をつくり、2010年度前期からの運用を開始した。
社会情報学部	教育の質の向上を目指し、FD公開授業ではアンケートを課して、授業の参考としている。また、授業後の懇談会では、教員同士が問題点や評すべき点を出し合って、授業の反省材料としている。さらに、学生から聴取した意見を踏まえ、履修の手引きをより分かりやすく修正した。

医学部医学科	前述のとおり、同懇談会の場では非常に活発な意見交換が実施され、アンケート結果などによるベストティーチャー賞の候補者の推薦等、それらの高評価授業の他の教員への模擬授業実施などにより啓発活動が可能となっている。
医学部保健学科	授業評価結果や懇談会等での意見をもとに、前年度と同様に消耗品類（チョーク、マーカー、マイクの電池）の補充を実施した。
工学部	授業評価アンケートの結果に対する各教員の授業改善の具体的方策などに関する報告書を各教員ごとに作成した。それらを基に学生との懇談会を開催し、教育の質の向上、改善に努めている。

#### 大学院科目

部局名	懇談会での意見を教育の質の向上、改善に結び付けた取組及び具体的な改善事例
工学研究科	授業評価アンケートの結果に対する各教員の授業改善の具体的方策などに関する報告書を各教員ごとに作成した。それらを基に学生との懇談会を開催し、教育の質の向上、改善に努めている。

### 3. F D活動

#### (1) 実施状況

##### 教養教育科目

部局名	実施組織	名 称	実施月日	教員参加者数	内 容
大学教育・学生支援機構	大学教育・学生支援機構 大学教育センター	全学 F D 連続講演会「大学教育のブランドデザイン」 「Diploma Policy から考える大学教育改革 - 初年次教育を中心に -」	H21.12.4	85	学士力・学生の質保証の観点において、大学教育改革が喫緊の課題となっていることから、愛媛大学の教育改革推進の中心組織である教育企画室の小林室長を招へいし、講演いただいた。今回は特に初年次教育に焦点をあて、愛媛大学での先進的な取組みを紹介いただいた。
	同上	ベストティーチャー賞選考のための公開模擬授業	H21.5.8	80	最優秀候補者6人による公開模擬授業を実施した。

専門教育科目

部局名	実施組織	名 称	実施月日	教員参加者数	内 容
教育学部	教育学部	特設の授業公開 (前期)	H21.7.6	8	授業の参観及び 授業研究会
	教育学部	特設の授業公開 (後期)	H21.11.10	3	授業の参観及び 授業研究会
社会情報学部	F D 推進専門 委員会	公開授業	H21.12.17 H22. 1.18 H22. 1.13	10 7 12	学部及び大学院 の公開授業の実 施
	F D 推進専門 委員会	著作権セミナー	H21.11.27	36	著作権制度の概 要等についての セミナーの実施
	F D 推進専門 委員会	企業との懇談会	H22. 2.17	31	企業の人事担当 者による講演及 び意見交換会の 実施
医学部医学科	医学科教務 部会	医学教育教授法ワ ークショップ	H21.12.19	97	【第1部】 教員の教育業績 評価について 【第2部】 障害を有する学 生の受け入れに ついて
医学部保健学科	教育課程専門 委員会	ベストティーチャ ー賞受賞者による 公開模擬授業	H21. 9. 2	42	ベストティーチャ ー賞受賞者によ る公開模擬授業
	教育課程専門 委員会	保健学教育ワーク ショップ	H22. 3. 2	75	大学院 G P によ る学習支援 広報・プロジェクト 開発について
工学部	工学研究科	ベストティーチャ ーによる公開模擬 授業	H21. 9. 1	約 100	ベストティー チャー賞優秀賞 受賞者による公 開模擬授業

大学院科目

部局名	実施組織	名 称	実施月日	教員参加者数	内 容
工学研究科	工学研究科	ベストティーチャ ーによる公開模擬 授業	H21. 9. 1	約 100	ベストティーチャ ー賞優秀賞受 賞者による公開 模擬授業

## (2) F D活動に基づく授業改善の取組及び具体的な改善事例

## 教養教育科目

部局名	F D活動に基づく授業改善の取組及び具体的な改善事例
大学教育・学生支援機構	ベストティーチャー賞選考のための公開模擬授業については、「大学教育・学生支援機構報告書」にまとめ、全教員に配付するほか、「大学教育センター」のホームページにベストティーチャー賞受賞者の「授業で特に工夫している点」などを掲載するなどして、授業方法の改善に役立てている。

## 専門教育科目

部局名	F D活動に基づく授業改善の取組及び具体的な改善事例
教育学部	対象となった授業の特長を確認し、参加教員が各自の授業に適した形でそれを採り入れた。
社会情報学部	F D推進専門委員会から各教員に、アンケート内容をよく吟味し、各科目の第1回授業の際に、「前年度の授業評価の結果を踏まえて、本年度はどの部分をどのように改善していくことになったのか」を伝えるよう依頼している。
医学部医学科	<p>学生による授業向上委員会から選ばれた教員による模擬授業を行うことにより、受講者として聞き易く、且つ分かり易い授業実施方法について、参加教員に対して認識・啓発することができその模擬授業受講者（参加教員）によるアンケートも実施し、評価項目から、改善点等の再認識の一助になると考えている。</p> <p>また、医学科のF Dにおいては具体の授業改善のみならず教育課題等に関する周知活動の一環としても機能している。本年度においては入学試験の事前相談において聴覚障害者からの問い合わせがあったことを踏まえ、F Dの場に置いて先行して受け入れられている大学や有識者からの講演を実施するなど待機を得た情報提供等の場を設けることが出来た。</p>
医学部保健学科	上記の実施状況に記載したとおり、「ベストティーチャー賞受賞者による公開模擬授業」を実施して、各教員の授業方法・内容の質の向上に努めている。今回の模擬授業では、単なる模擬授業とはせず、授業実施にあたってベストティーチャーが特に留意している授業の方法について、講義してもらった。また、保健学教育ワークショップでは、「大学院教育改革支援プログラム」による学習支援および「特色ある大学教育支援プログラム」によるチーム医療実習の成果について講演を実施した。
工学部	<p>1. 期間を設け授業公開をし、各教員ごとに報告書を作成した。また、ベストティーチャーによる公開模擬授業も行い各教員の授業方法の改善に役立てた。</p> <p>2. 2009年9月28日、オーストラリア・アデレード大学の Anton van den Hengel 教授による講演会「画像を用いたインタラクティブな物体モデリング」を開催して、授業改善の参考とした。</p>

#### 4. その他特記事項

##### 教養教育科目

部局名	その他特記事項
大学教育・学生支援機構	特になし

##### 専門教育科目

部局名	その他特記事項
教育学部	特になし
社会情報学部	学生が授業にどのように取り組んでいるかについても調査し（設問7～設問9）、各教員がその把握につとめている。 ベストティーチャー賞選考の根拠資料としている。
医学部医学科	特になし
医学部保健学科	特になし
工学部	特になし

##### 大学院科目

部局名	その他特記事項
教育学研究科	特になし
工学研究科	特になし

#### 5. 根拠資料

##### 教養教育科目

部局名	根拠資料
大学教育・学生支援機構	1. 授業評価質問票（分野別科目） 2. 「教養教育」アンケート（21年度） 3. 平成21年度前期授業評価（分野別科目）集計表 4. 平成21年度後期授業評価（分野別科目）集計表 5. 平成21年度教養教育アンケート集計表 6. 学長と学生との懇談会（教養教育）での意見について 7. 学長と学生との懇談会（4/30）での意見・要望に対する回答のまとめ 8. 全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」 「Diploma Policy から考える大学教育改革 - 初年次教育を中心に - 」

##### 専門教育科目

部局名	根拠資料
教育学部	1. 授業アンケート用紙 2. アンケート集計結果 3. 学部長との懇談会記録
社会情報学部	1. アンケート用紙 2. 集計結果

医学部医学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. アンケート用紙</li> <li>2. 学友会との懇談会（第2回）資料</li> <li>3. 平成21年度医学教育教授法ワークショップ次第</li> </ul>
医学部保健学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 授業評価アンケート集計結果</li> <li>2. 保健学科学友会との懇談会（第1回）資料</li> <li>3. " (第2回)資料</li> <li>4. ベストティーチャー賞受賞者による講演会次第</li> <li>5. 平成21年度保健学教育ワークショップ</li> </ul>
工学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 授業評価アンケート用紙</li> <li>2. 授業評価アンケート報告書</li> <li>3. ベストティーチャー賞優秀賞受賞者による公開模擬授業</li> </ul>

大学院科目

部局名	根拠資料
工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 授業評価アンケート用紙</li> <li>2. 授業評価アンケート報告書</li> <li>3. ベストティーチャー賞優秀賞受賞者による公開模擬授業</li> </ul>